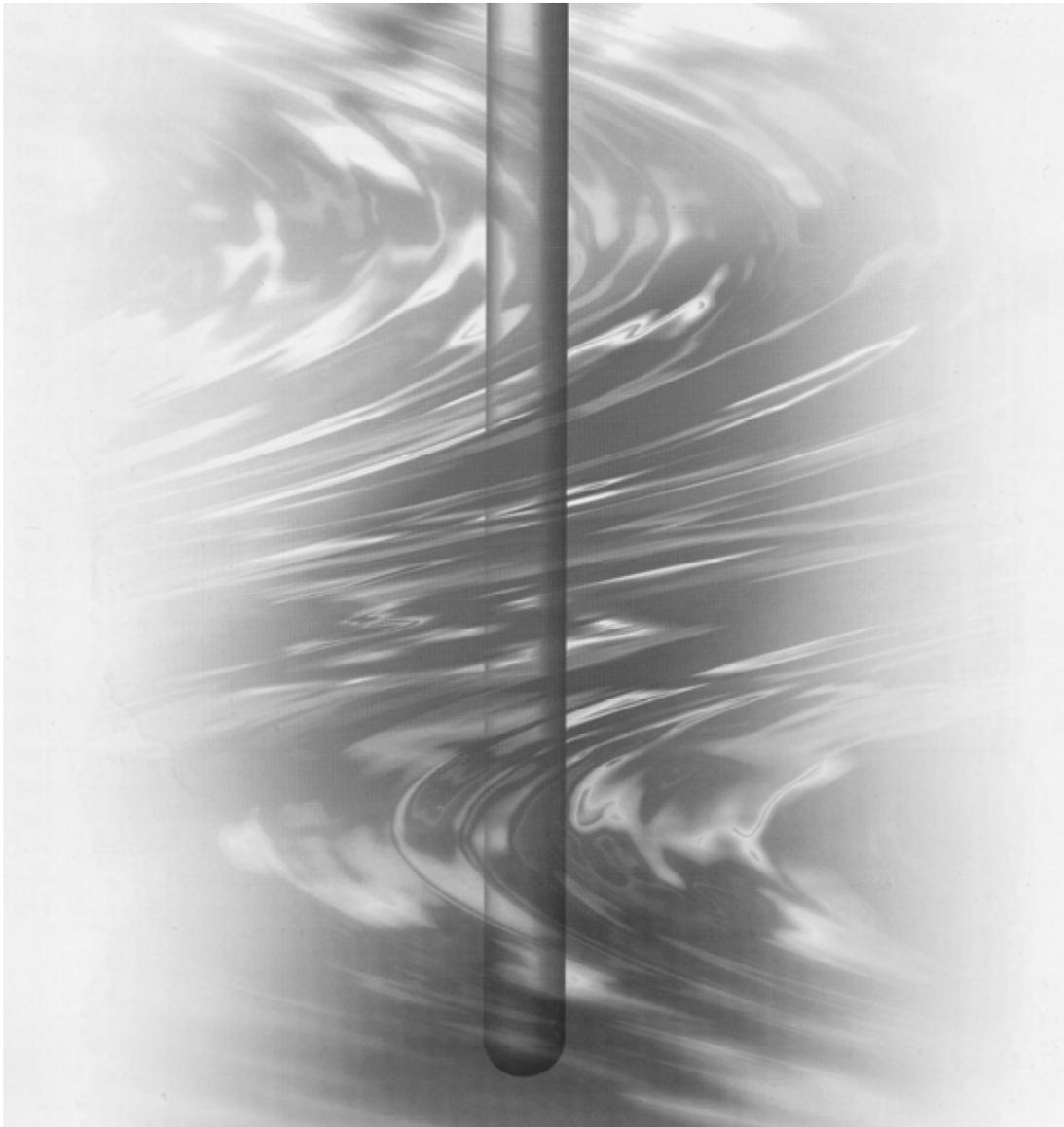


セ ン サ ー

2006年 1月号 第39号

東京温度検出端工業会 会報



年 頭 雑 感

2006年1月

会 長 林 正 樹

皆様明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

昨年12月に日本電気計測器工業会から事務局に送られてきました「電気計測器の中期予測」によれば、電気計測器全体の売上は2005年度は半導体関連の設備投資抑制から4.2%減の7,969億円が見込まれるものの、2006年度以降から回復基調となり、2009年度の9,033億円まで平均伸び率2.5%/年で徐々に回復すると予測されております。原油価格・アメリカ経済・中国経済・イラク情勢等のリスク要因はありまじょうが、是非、この予測通りにいって欲しいものです。

ところで全く話しは変わりますが、最近よく「癒し系」などという言葉に耳にしますが、皆様はどのようなことで癒されると感じられていますのでしょうか。私は歳と共に癒されると感じるものが変化してまいりまして、以前はあれほど「いいな」と思って聞いた音楽もそれ程感じなくなっている一方で、最近、専ら癒されているのが昭和30年代の古今亭志ん生、桂文楽、三遊亭円生、林家正蔵（彦六）、桂三木助、三笑章可楽といった面々の落語（主にCDで聞いています）です。高座で酔って寝込んでしまったりといいかげんの代表のように思われていますが、ギャグや言葉遣いにセンスがあり、登場人物に愛情を感じさせる志ん生さん（俳優中尾彬のおかみさん池波志乃のおじいさんです）、噺の数は多くはないけれども練りに練ってどれも文句のつけようのない文楽さん、子供の頃からの寄席芸人で正統派を自認していた円生さん、独特の語り口で芝居噺や人情噺で人気のあった正蔵さん、どれも今聞いても心底いいなあと思います。好きな噺はいろいろありますが、中でも最近気に入って良く聞いているのは名人円朝作といわれ歌舞伎の演題にもなっている「文七元結（ぶんしちもつとい）」という噺。これは志ん生さんや正蔵さんも演っていますが、円生さんが独演会で約1時間省略なしにたっぷり演っているのがあって、専らこれを聞いています。

粗筋は本所だるま横丁の左官の長兵衛さん、腕はよいのだが博打に凝っちまって台所は火の車。見かねた娘お久が父親の仕事の出入り先である吉原の佐野槌という大見世に駆け込んでこしらえてくれた50両（今の価値で300万円位でしょうか）を懐に、娘を佐野槌に残したまま一人で帰る途中の吾妻橋（ここのところの高座を再現すると・・・「闇の夜に吉原ばかり月夜かな」大門（おおもん）をそこそこに見返り柳を後にして、土手の道哲（どうてつ）、待乳（まつち）の山、聖天町（しょうでんちょう）、山の宿（しゅく）、花川戸、左に曲がる吾妻橋・・・実にテンポのいい名調子です）、ここで若いお店者の文七が身投げをしようとするところに出くわしてしまう。聞いてみると大名屋敷から集金した売掛金の50両を盗られたので生きていけないという。いろいろやり取りがあった拳句、長兵衛さん、自分の50両を文七に遣って逃げるように行ってしまう。文

七がお店に帰ってみると盗られたというのは勘違いで大名屋敷に置き忘れてきたので、50両は既に大名屋敷から届いている。訳を聞いた主人が感激して翌日、文七を伴いお酒の切手（今のビール券に相当するものでしょうか。江戸の消費経済が進んでいたことに驚きます）を持って長屋を訪ね、昨日の50両を返却し（ここでも長兵衛さん「江戸っ子が一旦やったものは受取る訳にはいかない。その人が店を構えるときの暖簾の染め代にしてくれ。」などと見栄を張ってまわりを困らせます。）、親類付き合いを願ったうえ、佐野槌から娘を身請けしてきれいな着物を着せて長兵衛親方のもとへ送り届ける。「おっかさんは？」の娘の声に亭主の尻きれ半纏一枚で下はスッポンポンのため、枕屏風の陰に隠れていた母親もたまらず飛び出して親子三人抱き合っただけで涙にくれる。この後、文七とお久が夫婦になって麹町貝坂に元結屋を開いて大いに繁盛したという、おめでたい文七元結元祖のお断。悪い奴や嫌な奴が1人も出てこない、実にいい話です。興味のある方は聞いてみて下さい。

それでは今年一年が皆様にとりまして良い年でありますように。

会の動き

- 平成17年 1月28日 第49回技術懇談会 ... 参加者25名
会場：アジレント・テクノロジー(株)北八王子
内容 電気計測標準室の環境条件の管理について
不確かさ初級講座
講師：同社標準室 室長 横井克己氏
- 平成17年 2月4日 講演会 ... 参加者36名
会場：石福金属工業(株)本社会議室
内容：「NIST標準供給 金、白金熱電対について」
講師：玉川大学 教授 後藤昌彦氏
- 平成17年 2月4日 新春懇親会 ... 参加者36名
会場：神田「越中」にて
- 平成17年 3月31日 平成17年度退会会員会社 ... 3社
井上金属(株)、大昌エンジニアリング(株)、
ユミコアプレシヤスメタルズジャパン(株)
平成17年 4月1日現在会員数 25社
- 平成17年 4月21日 理事会（於：(株)ニッカトー 8F会議室）
議題：総会提案、議題の審議他

- 平成17年 5 月25日 第31回定時総会及び懇親会 ... 参加者30名
会場：霞ヶ関東海倶楽部（霞ヶ関ビル33階）
議題 第31期事業報告及び収支決算報告
第32期事業計画案及び収支予算案審議
理事会任期満了による改選投票
- 平成17年 5 月25日 第32期第1回理事会
新理事会社にて新会長選出。出席全理事会社にて推挙。第6代会長として林電工(株)林社長に就任いただくことで決定。
- 平成17年 7 月 1 日 事務局移転引継
従前林電工(株)より新事務局として(株)ニッカトーへ事務局移管のための引継を行いました。
- 平成17年 7 月 7 日 第32期第 2 回理事会 ... 出席 9 社11名、欠席 2 社
議題 一日見学会の検討（見学先、日程他）
勉強会の検討 ... アンケート調査とする
技術懇談会開催について
第50回記念講演会としての内容検討
- 平成17年 9 月 8 日 第32期第 3 回理事会 ... 出席 9 社11名、欠席 2 社
議題 第50回技術懇談会開催決定事項報告
一日見学会訪問先、内容の詰・検討
勉強会アンケート中間報告
- 平成17年10月 7 日 第50回記念技術懇談会 ... 参加者35名（24社・団体）
会場：都立産業技術研究所西が丘庁舎 4 F 第 4 会議室
講演：「技術懇談会50回の歴史」
講師：東京都立産業技術研究所 尾出順氏
記念講演：「放射温度計測技術と温度標準」
- 温度の再定義から先進計測技術まで -
講師：産業技術総合研究所 石井順太郎氏
懇談会終了後、第50回記念懇親会を開催。34名参加いただきました。
- 平成17年11月10日 第32期第 4 回理事会 ... 出席10社10名、欠席 1 社
議題 第50回記念技術懇談会結果報告
第 4 期勉強会アンケート結果による今年度中止延期報告
一日見学会詳細担当理事役割決定
新年会原案検討
工業会活性化問題について

平成17年12月6日

一日工場見学会 ... 参加者11社21名

見学先：東亜鉄工(株)

東京ガス(株)環境エネルギー館

キリン横浜ビアビレッジ

一日工場見学報告

(株)ニッカトー 佐木武夫

今回、初めて東京温度検出端工業会の工場見学に参加させて頂きました。17年度入社の際は、研修等で様々な現場等を見学させて頂く機会が多かりましたが、今回の様な大きな工場の見学は初めてだったので、どのようなものが見られるのか大いに楽しみでありました。

午前は、東亜鉄工へ訪問。創設者の浅田総一郎氏や、工場周辺の紹介等をしていただきました。浅野氏の商売に対しての目の付け所と行動力は素晴らしいものがあると感じ、それと共に、私もそのような一歩先を見るような知性や感性が身に備われればと思いました。船舶の製造及び修理に使われるというドライドッグは初めて見させていただきましたが、その設備の大きさに驚きました。修理する際に船舶を乗せる木の台などは置く位置の調整が簡単そうに見えて、微妙で重要だとか。やはり工場という所には小さな事から様々なノウハウが詰まっているのだと感じました。

午後は、東京ガスが運営している環境エネルギー館を訪問しました。東京ガスが環境に深く関わるエネルギー事業者として、環境・エネルギーの問題の重要性を、特に子供たちに伝える事を目的で設立されたようです。環境が注目されるようになり、年々来場者が増え、年に10万人訪問するとの事ですが、今年は既に例年の入場者数を越えているとの事でした。より一層環境問題に対する意識が強まっているという事の表れという事なのでしょう。

施設内は展示物のほかに、建物自体に多くの工夫がされており、燃料電池を使用した発電や、屋上には風力発電、太陽電池、その際の排熱を使用した冷暖房など多くの設備が活用されている上、それぞれが連係され、効率よいエネルギーの活用をされていました。

昨今、企業の環境に対する取り組みも企業の活動の一環として不可欠になってきており、子供たちはもちろんの事、私たち社会人が当然の取り組みとして、環境に関心を持つべき事の重要さを感じました。

続いてキリンビアビレッジを訪問。仕込、発酵、貯蔵と一連して製造される工程を見学させて頂きました。次々に充填されていく様子は圧巻で、工場の規模の大きさ、ビールの消費量に驚かされました。温度管理については、センサを実際に見る事は出来ませんでしたが、充填するビン・缶・樽の再利用の際の熱処理や、1～2ヶ月ほど0℃で管理される貯蔵など、やはり工程の中での温度管理も重要なようでした。また、工程見学の合間に、たびたび環境に対する取り組みの説明がされており、やはり環境問題に取り組む事は、企業のアピールする部分であり、環境エネルギー館に続き、必要なことだと実感しました。

今後、このような機会があれば、また参加させて頂きたいと思います。また、今回このような機会を与えて下さった関係者の方々に心よりお礼申し上げます。

編集後記

昨年末より各地に寒波による大雪を降らせ、年明けも続いて被害が増大しております。我々の業界としては自動車産業を中心とした企業業績の回復による設備投資の拡大などによる恩恵も受け、各社決算も良好な見通しが立っていると思われま

す。今年度も前半受注先行が出来れば明るい見通しとなることで良き一年になるよう頑張っていきたいと思います。



平成18年1月発行 39

発行所

東京温度検出端工業会

事務局

〒112-0012 東京都文京区大塚5-7-12

NKビル新大塚2F (株式会社ニッカトー内)

電話 03-5978-3500

FAX 03-5978-3504